

ポーランド国内治安統計（２０２６年第３四半期）

令和８年１０月２０日
在ポーランド日本国大使館

１．治安統計

国家警察本部の情報によると、２０２６年第３四半期（７月～９月）の総犯罪認知件数は１３万６，１９９件となった。

前期（２０２６年第２四半期）比では、総犯罪認知件数が３４．８％減となり、全ての犯罪類型で減少が見られた。例年、第３四半期は、第２四半期と比較してほぼ全ての類型で減少する傾向があり、今年も同様の傾向が見られた。また、前年同期（２０２５年第３四半期）比では７．９％減となったが、薬物犯罪の増加が見られた。

	２０２５年 第３四半期		２０２５年 第４四半期		２０２６年 第１四半期		２０２６年 第２四半期		２０２６年 第３四半期		
	件数	前年同期 増減率	件数	前年同期 増減率	件数	前年同期 増減率	件数	前年同期 増減率	件数	前期比	前年同期 増減率
総認知件数	147,892	5.3%	190,982	0.1%	181,359	-17.1%	208,738	-11.3%	136,199	65.2%	-7.9%
殺人	99	-8.3%	132	2.3%	104	-19.4%	117	-17.6%	79	67.5%	-20.2%
暴行	448	-12.7%	608	-20.1%	502	-11.9%	515	-42.8%	382	74.2%	-14.7%
強制性交	231	13.8%	320	0.6%	235	12.4%	305	-5.9%	212	69.5%	-8.2%
強盗	600	-24.1%	780	-18.3%	859	-8.1%	864	-37.5%	587	67.9%	-2.2%
窃盗	17,864	-11.4%	21,259	-17.0%	18,531	-5.6%	20,880	-12.4%	16,769	80.3%	-6.1%
車両窃盗	1,094	-13.2%	1,938	-3.8%	648	-24.7%	905	-33.5%	855	94.5%	-21.8%
侵入盗	8,700	-16.1%	9,751	-21.1%	16,150	-7.3%	11,907	-32.6%	7,588	63.7%	-12.8%
薬物犯罪	13,867	0.1%	16,222	4.1%	21,699	15.7%	18,814	-14.8%	15,089	80.2%	8.8%

（国家警察本部提供の統計を基に作成）

２．邦人被害発生状況（当館に報告のあった事案）

- ヴロツワフ市内にて不審者にアパートまでつきまとわれた。
- クラクフにてトラムの切符購入のため並んでいた際、カバンから現金とパスポートを盗難された。

３．日系企業の安全に関する諸問題等

特段の問題は確認されず。

４．テロ関連事案

- ９月中旬、ポーランド公安庁（ABW）は、ネオナチ思想や暴力、テロ攻撃に関係するコンテンツを汎用する集団と接触していた疑いのある１６歳の少年２名

を拘束したほか、モスクや学校を標的とした大規模なテロ攻撃を計画していた17歳の少年を拘束した。

5. その他参考事案

- 7月30日未明、未確認飛行物体がポーランド領空に進入し、ルブリン県タルナヴァ＝コロニア近郊（ワルシャワから南東約190キロメートル、ルブリンの南約50キロメートル）に落下した。ルブリンの地方検察庁は、当該物体はロシアにて製造された巡航ミサイルKH-101であると発表した。ポーランドが標的であったかどうかの判断については留保している。落下地点にクレーターが生じた以外には、本件による人的・物的被害は確認されていない。
- 9月13日早朝、ウクライナ・ヤゴジンとポーランド・ドロフスクを結ぶ国境検問所周辺（ウクライナ側）にて、ロシアのドローンが旅客列車及び国境近くのガソリンスタンドを攻撃した。機関車の被弾はポーランド国境から約2キロメートル地点、ガソリンスタンドは約800メートルの地点で発生した。トウスク首相は、ロシアの計画にウクライナとの国境検問所の混乱や麻痺、又は破壊の試みが含まれていることを察知しており、今後数週間から数か月、ロシアによる行動が非常に激化する見通しであるほか、このエスカレーションがポーランド領土にも及ぶ可能性は排除されないと発言した。同首相は、これらの攻撃は、NATOの決意を試すとともにロシアの試みの一環となり得る旨述べ、晩秋から冬にかけてが、これまでのロシアによる対ウクライナ戦争の中で「最も重大な時期」になり、ロシアは、ウクライナの経済と物流を「可能な限り最大の規模で」破壊することを目的とした戦略を採用している旨述べた。この国境沿いの地帯は、9月17日及び28日にもロシアによるドローン攻撃を受けている。
- 9月23日、ポーランド軍作戦司令部は、ポーランド北東部に位置するブラニェヴォ（ロシア領カリーニングラードとの国境南側）北部にてロシア軍Mi-8ヘリ（多目的ヘリ）の領空侵犯があったと発表した。作戦司令部は、「9月23日午前11時08分、ブラニェヴォの北方において、ロシア軍のMi-8ヘリによるポーランドへの短時間の領空侵犯が発生した。当該ヘリはカリーニングラードから飛行しており、最大で約300メートル領空内に侵入し、42秒間とどまった。（中略）本件の性質から、ロシアが再び我が国の防空態勢の即応性を試していることが示唆されている。」と公表した。

（次頁に参考情報として中・長期的な治安統計を掲載）

【参考：過去5年の犯罪件数の推移】

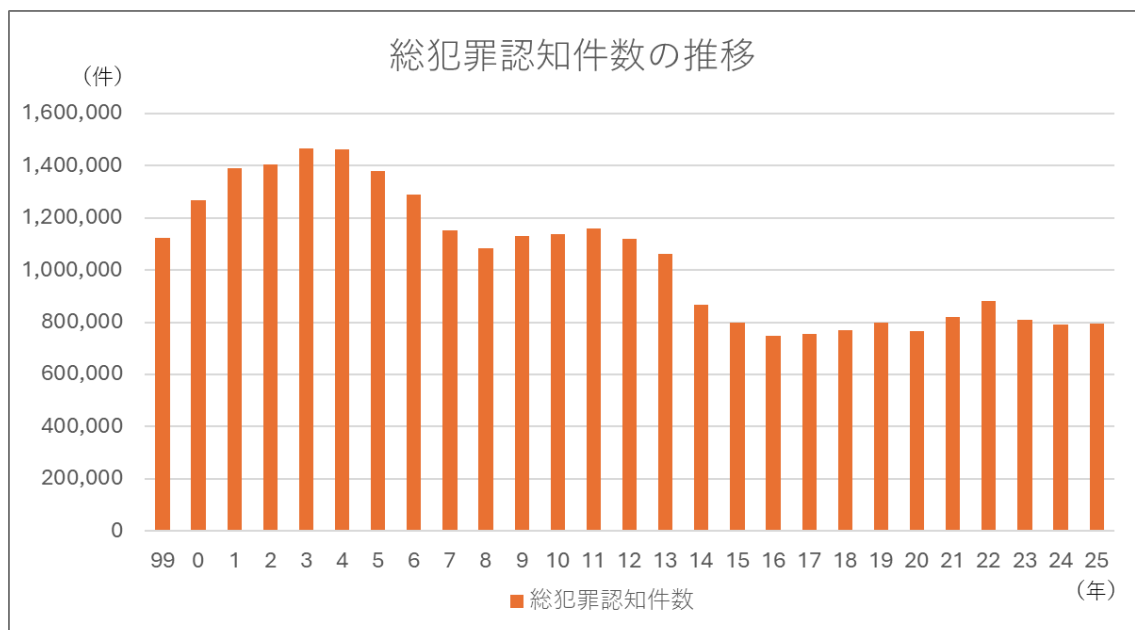
- 総犯罪認知件数は、2022年から2023年にかけて8.2%減少したが、その後大きな増減は見られない。
- 強盗、窃盗、車両窃盗及び侵入盗は、近年減少傾向にある。

	2021年		2022年		2023年		2024年		2025年	
	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
総認知件数	880,704	-0.03%	880,931	0.03%	809,133	-8.2%	790,065	-2.4%	793,157	0.4%
殺人	623	23.1%	506	-18.8%	565	11.7%	502	-11.2%	502	—
暴行	2,482	-14.1%	2,888	16.4%	2,842	-1.6%	2,700	-5.0%	2,527	-6.4%
強制わいせつ	1,161	4.8%	1,108	-4.6%	1,111	0.3%	1,102	-0.8%	1,084	-1.6%
強盗	4,646	-3.7%	4,823	3.8%	4,647	-3.6%	4,246	-8.6%	3,698	-12.9%
窃盗	116,691	-5.6%	123,589	5.9%	119,701	-3.1%	92,220	-23.0%	82,570	-10.5%
車両窃盗	8,056	8.5%	7,423	-7.9%	6,375	-14.1%	5,734	-10.1%	5,253	-8.4%
侵入盗	72,324	3.2%	70,069	-3.1%	64,347	-8.2%	57,133	-11.2%	53,546	-6.3%
薬物関係	73,157	4.5%	69,991	-4.3%	67,251	-3.9%	71,081	5.7%	70,928	-0.2%

(国家警察本部提供の統計を基に作成)

【参考：長期的な犯罪認知件数の推移】

- 2000年代初めに一時的に治安が悪化したが、警察による取締強化や警察能力の向上によって治安が改善し、近年の治安状況は安定している。



(国家警察本部提供の統計を基に作成)